

こんにちは

-No.80



日本共産党 東村山市議会議員

山田たか子です

市内学校の周年記念式典が開催

八坂小学校 70周年

化成小学校 150周年

式典では、市長から「学校のこれまで積み重ねてきた伝統や特色を、これからも引き継いでください」と、お話がありました。

各学校それぞれが地域に根付き、伝統や特色が受け継がれてきました。ところが、学校の統廃合によって、それが叶わない学校も出てくるとしたらどうでしょうか。

私は、学校統廃合の議論はまだまだ不十分だと感じており、今議会で質問予定です。



八坂小学校は創立 70 周年。体育館の天井には、児童のみなさんが描いた色とりどりの旗が飾られていました。

避難所運営連絡会へ

10月号のニュースでお知らせした「避難所運営連絡会」ですが、先日は、居住地域の久米川小学校の連絡会に参加させていただきました。

そこで初めて備蓄倉庫の様子を見ることができました。久米川小学校では、学校の協力を得て、倉庫の場所を体育館近くの校内に設置された経緯なども伺うことができました。



これまで複数の学校を見て感じることは、毎月連絡会を開催する学校や、学校と連絡会の合同で訓練を行っている学校など、各校のすすみ具合に大きな差があるということです。

けれども、災害はいつ起こるかわかりません。常に、対応できるような体制を作っていくことが求められています。今後も連絡会に参加して、協力していきたいと思います。

山田たか子事務所

TEL 395-4973

携帯090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6



活動報告・今後の日程

11月7日 東村山を変える超党派議員連盟 議会報告会

2023 年度決算について各会派からの報告や、“東村山市役所のパワハラ根絶決議”についてお話をしました。



12月1日 さよなら原発 東村山ウォークへ

さよなら原発！この声を、みなさんと一緒に諦めずにあげていきます。



12月議会が始まります

2日 初日

3日 本会議

5日 一般質問

6日 一般質問（渡辺・浅見）

9日 一般質問（山田・さとう）

11日～16日 常任委員会

24日 最終日

★議会を傍聴できます。市役所本庁舎5階の事務局へお声かけください。ホームページからは、オンラインや録画配信も視聴できます。

原発事故は終わっていない

～もとには戻らない 福島の現状

忘れない 風化させない

11月10日～11日、原発なくそう東村山連絡会のみなさんと一緒に、福島を訪れました。6年前は、人々の暮らし

・町全体の時が止まったような印象でしたが、いまは住宅などの建物が無くなり、

ただ草木が生い茂る空地が広がっています。



“見た目”だけの復興に巨額の税金

帰宅困難区域（特別許可がなければ、立ち入りできない地域）の駅前開発や、大型ショッピングセンターの建設が行われています。誰が働くの？誰が訪れるの？工事現場で働く人々の安全・人権はどうなるの？もっと優先すべき課題があるのではないか。

復興までにはほど遠い 奪われた日常

学校も病院も無くては暮らせません。利水整備もされていない地域もあり、ふるさとに戻ってきても暮らせません。お互いに助け合って生きてきた人・地域とのつながりが断ち切られ、避難先で心が追いつかずに苦しんでおられる方のお話を伺いました。

生徒のいない学校

原発事故により休校となった1923年創立の双葉高校。風向きや落ち葉の体積状況によって放射線量が大きく上下します。かつて甲子園出場を果たした学校の荒れ果てた校庭に、胸が痛みます。



同性婚の法制化まで あと少し！



結婚の自由をすべての人に

10月30日、東京1次訴訟の東京高裁判決では、戸籍上の同性カップルが結婚できないのは「性的指向による差別」で違憲との判断。3月の札幌高裁に続く「高裁2例目の違憲」です。

同性婚の法制化が進む国ではどんな影響？

- ★国民の幸福度の向上
- ★若者などの自殺未遂率の減少
- ★経済面での好影響



国民の要求と運動が政治を動かすチャンス！

選挙では、唯一反対する自民党の議席が減。自治体パートナーシップ制度の広がりと共に、婚姻の平等に賛同するキャンペーンの賛同企業・団体数も600近くにのぼっています。

日本共産党は、企業・団体献金も政党助成金も受け取らない政党です。企業・団体献金の全面禁止と政党助成制度の廃止を一体で行うことが、金権腐敗政治を無くす道だと考えます。

みんなで学ぼう失語症

11月23日、失語症会話パートナーの会「若竹の子」主催の“失語症の方と一緒に「みんなの勉強会」2024”に参加しました。

失語症ってなんだろう？

脳卒中や事故などで脳の言語野が傷つき、話す・読む・聞く・書くなどが突然できなくなる障がいです。その程度は人それぞれですが、誰にでも起こる可能性があります。

東村山でもすすめたい！意思疎通支援事業

東村山市には意思疎通支援制度がなく、現状では「要約筆記」が支援として提案されてしまいます。しかし失語症の場合、支援者が当事者の状態を把握し、想いを推測する等の技術と経験が必要です。また、信頼関係を築き、お互いの気持ちが通じ合える関係性が求められます。勉強会では中野区の先行事例を学びました。

電子版 3週間

無料キャンペー

ンやってます！

HP



いま しんぶん赤旗 がおもしろい！

日刊紙 月3,497円

日曜版 月990円

(日刊紙 電子版 月3,497円)

お申し込みは山田までどうぞ(^_^)

